



講座のアピールポイント

私どもは2016年4月に開設された新しい部門です。

はっきりと診断がついていない場合や診療の方向づけが難しい患者さんに対して、臓器の枠にとらわれず横断的にアプローチして幅広く診療を進め、どのような問題があるかを探ります。

治療を要する問題が明らかでない場合は不安の軽減につとめる医療を心がけます。身体と心、社会的背景などを総合的に診療する医療を展開していくことを特色としております。

2018年からは大学病院の退院支援を含め高齢化が進む地域医療への貢献として、大学病院では珍しい在宅医療分野も担っております。機動性をもって地域へ出向く役割も増えつつ、できるだけいねいな医療を心がけ、患者さんの人生におけるさまざまな場面で診療ならびにご相談に応じ、お役に立てるよう努力しています。

講座研究紹介

さまざまな病態の解明につなげるため、診療場面では西洋医学による診療手法だけでなく東洋医学的アプローチ（漢方医療）を併施することにより治療効果を確認しています。

生薬がブレンドされた漢方製剤の効く仕組みや生体反応の機序については、解明されていないことも多いので、私どもの講座ではこのような臨床経験にもとづく事象をヒントに、高齢者を含めた複合症状を呈する徴候における研究などを手がけていけるよう努力を重ねております。

